

# ミラバケツソ

(未来に化ける新素材)

で

# チキュウカイカイ。

(地球問題の解決に挑む会社)



クラレまる



クラレちゃん



この一年間にクラレへ寄せられた、たくさんのご意見ご質問ありがとうございます。  
その中から代表的なものをご紹介します。クラレホームページには、これ以外のものも掲載しています。

ミラバケツソをチキュウカイカイに変えたんですか？



いいえ。  
2つの言葉は、実は深い仲なのです。

「ミラバケツソ」とは、クラレのキャッチフレーズ「ミラいにバケる新素材(未来に化ける新素材)」を略したもの。チキュウ問題のカイ決に挑むカイ社クラレが独自の化学技術で作り出す製品の総称です。つまり、クラレは「ミラバケツソ」で「チキュウカイカイ」。未来に化ける新素材で地球問題の解決に挑む会社なのです。どちらもクラレにとって大切な言葉と言えます。

地球問題を解決するどんな新素材があるんですか？



たくさんあります！  
それは、3つの分野に分けられます。

クラレは、大きく分けて「水・環境分野」「エネルギー分野」「光学・電子分野」の3分野で、大気汚染や地球温暖化などの全地球的な課題に挑戦しています。例えば、海の生態系を守る画期的なバラスト水管理システムやエコカーの普及・向上につながるリチウムイオン電池の部材など。クラレのチキュウ問題のカイ決に挑む新素材は、たくさんあって紙面では語りつくせません。ぜひホームページをご覧くださいね。

ホームページに行ったら、世界シェアNo.1の製品がたくさんあって。失礼ですがホントですよ？



ありがとうございます！ホントです。  
クラレの企業文化は、「世のため人のため他人のやれなことをやる」。だからこそ、独創性の高いNo.1製品が生みだされるのです。例えば、液晶ディスプレイに欠かない光学用パールフィルム、高いガスバリア性を誇る機能性樹脂(エパール)、ランドセルでおなじみの人工皮革(クラリーノ)などなど。世界シェアNo.1製品の売上高は、クラレグループ全体の約1/2に達しています。(当社推定、2013年3月現在)

クラレの社名の由来は？



ヒントは、創業の地・岡山県倉敷の…。

クラレの前身は「倉敷絹織株式会社」。化学繊維レーヨンの企業化を目的に、1926年岡山県倉敷に誕生しました。1949年には「倉敷レイヨン株式会社」に社名変更。その後、多方面への事業展開により、社名にレーヨンという言葉を使うことがふさわしくなくなったため、1970年に倉敷の「クラ」とレーヨンの「レ」を残し、「株式会社クラレ」という新社名に変わったのです。

グローバルな化学メーカーなんですね。将来性を強く感じました。



うれしいご意見！  
はい、クラレは意外と国際派。

ふり返ればクラレの海外展開の足がかりは、1986年、米国合弁会社での機能性樹脂(エパール)の現地生産でした。その後、どんどん拡大する世界市場からのニーズに応える形で現地生産・現地販売を行い、グローバル化を進めていきました。現在、連結売上高に占める海外比率は約50%になっています。この瞬間も、世界のどこかでクラレは未来に化ける新素材をつくっています。

いつもCMやプレゼント、楽しみにしています。「クラレまる」ほしいなあ。



わかりました。早速、ご要望にお応えして今回もまたプレゼントクイズを実施します。正解された方の中から抽選で300名様に「クラレまるハイパージャンボおしゃべりぬいぐるみ」1体をプレゼント!

問題.高性能な蓄電装置に使われる、クラレの「①②③④」用活性炭。急速に電気を蓄え、充電できる優れたものです。さて、空欄に入る言葉は次のうちのどれ?

1.キャバシタ 2.キャボシタ 3.トップシタ



ヒント&応募は、  
クラレホームページから! [www.kuraray.co.jp](http://www.kuraray.co.jp)

応募受付期間 2013年5月13日(月)17時まで